

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：4年1月24日

事業所名：夢ポケット笑心(NICO)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースを確保している。尚、その場に応じてクールダウンできる室も確保している	回答者9名中 はい:9	今は現状のままでき、懇談の時に見学をしていただき、保護者からの要望があれば、その都度改善していきたいと思っています
	2 職員の適切な配置	日々、4名～6名のスタッフを配置している	回答者9名中 はい:8 わからない:1	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関はバリアフリーになっていないが、主に活動するスペースはバリアフリーとなっている	回答者9名中 はい:9	見学の機会を作りたい
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃、整理整頓の徹底に心がけ、子ども達が活動しやすい空間を作っている	回答者9名中 はい:8 わからない:1	常に清掃の徹底を行い、細菌感染予防ため手洗いの励行と、マスクとマイタオルを勧めている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員間で日々コミュニケーションをとっている		年間目標、月間目標を定め、それぞれの目標達成のために、日々の目標達成に取り組んでいる
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点では、第三者による外部評価は行っていない		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修に職員全員で参加できる体制にしている		今後も、外部研修に積極的に参加する
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時や年2回保護者懇談を行い保護者のニーズや課題に対して、個別支援計画を作成している。		保護者と密に連絡を取る。また、年2回の保護者懇談以外でもニーズや課題を把握し、個別支援計画に反映できるようにする
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子ども達の状況や特性も含めて、個別活動、集団活動の使い分けを行い、個別支援計画に反映させている		今後も継続して行う
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画等での必要な項目を設定し、連絡帳にその日に記載を行っている		個別支援計画に沿った目標の達成が出来るように適切な支援の実施を行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	それぞれに合った支援計画に基づき、支援を行っている	回答者9名中 はい:8 わからない:1	今後も引き続き行う
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全員で提案及び協議し、決めている		今後も引き続き行う
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	事前に予定を立て、当日ミーティングを行っている		今後も引き続き行う
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	基本のプログラムは固定化されているが、季節に応じていろいろなイベントを実施している		季節に応じて活動内容を計画し、今後も内容が偏らないよう配慮する
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	療育時間前に対象者の記録を確認し、職員の配置も確認している。		今後も継続して行う
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、ノートに記載したり、次の日のミーティングやメールなどにより、情報の共有を行っている		利用の様子を振り返り、気付いた課題等があれば意見を出し、支援の見直しを行う
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日報に記録をし、次の日にその記録を基にミーティングを行い、改善に努めている		今後も記録の徹底を意識し、継続する
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	職員全体で子どもの現状に合う計画がなされているかを見直すよう心がけている		6か月に1回、支援センターの相談員と連携し、ケース会議を行う	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達支援管理者が参加。必要に応じて担当しているスタッフも加えて参加		今後も引き続き行う
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児なし		必要があれば今後検討する
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児なし		必要があれば今後検討する
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援センターを通じて、支援内容・方法の情報の共有を行っているが、小学校等からは伝わらず、保護者からの情報が多い		各機関と連携し、必要に応じて情報共有を行う
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要があれば行う		個人情報の取扱いに留意しながら、必要に応じて行う
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	スタッフに必要な研修は周知し、参加を奨励している		職員に研修情報を提供し、意欲的に参加できる体制を確保し推進する
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施していない	回答者9名中 はい:8 わからない:1	ご家族、ご本人のご希望があれば検討する
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所として企画した行事はない。以前は行事に参加していたが、福祉参加が少なくなっている	回答者9名中 はい:8 わからない:1	今後もあれば、参加していきたい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	初回評価時の重要事項説明書に記載し実施している	回答者9名中 はい:9	全体的になされていると考えるが、一人でもそう思っていないと受け止められているので今後もさらに丁寧に説明をしていきたい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談等で詳細を説明している	回答者9名中 はい:8 わからない:1	今後も更に契約時及び面談等で説明を行う
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの相談に対しては家族支援として個別に対応しているが、保護者への積極的なトレーニングの実施には至っていない	回答者9名中 はい:3 どちらともいえない:1 わからない:5	保護者のニーズを引き出し、職員から保護者に個々に提案・説明をしていく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎日の連絡帳に子どもの様子について記入し、送迎時にも口頭で報告している	回答者9名中 はい:9	今後も継続して行う
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	いつでも対応できるよう体制をとり、相談や助言を実施している	回答者9名中 はい:8 わからない:1	今後も継続して行う
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	事業所としての企画は現在実施していない	回答者9名中 はい:1 どちらともいえない:2 わからない:6	保護者の日程調整が難しいが、年に1回以上は保護者会を開催できるよう努力する
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	何かあれば、その都度話をしている。電話やメール、直接お話しして日頃の利用に関する事など、すぐに対応できるようにしている	回答者9名中 はい:7 わからない:2	今後も継続して行う
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚的にわかりやすく、写真や文字などで説明している 保護者には連絡帳や直接の会話でお伝えしている	回答者9名中 はい:8 わからない:1	今後も継続して行う
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的にはしていないが、メールやお手紙等で発信することはある	回答者9名中 はい:8 わからない:1	今後は出来るだけ定期的に発信する
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のファイルは決められた場所に保管し、個人について知り得た情報は口外しないよう徹底している	回答者9名中 はい:8 わからない:1	今後も継続して行っています

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルは策定し、職員に周知徹底し、保護者には避難体制等を知らせている	回答者9名中 はい:8 わからない:1	職員だけでなく、保護者に周知徹底を図る
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回以上は避難訓練の予定を立て実行している	回答者9名中 はい:6 どちらともいえない:1 わからない:2	今後も継続して行う
	3 虐待を防止するための職員研修機種の確保等の適切な対応	研修に職員全体で参加している		今後も継続して行っていきます
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当児なし		今後も身体拘束を行う予定はありません
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	初期アセスメントの際に保護者から聴取し、確認している		今後も保護者との連携を密にし、確認する
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書、事故報告書等があった場合には職員全員で情報を共有し、再発防止に努めている		今後も継続して行う